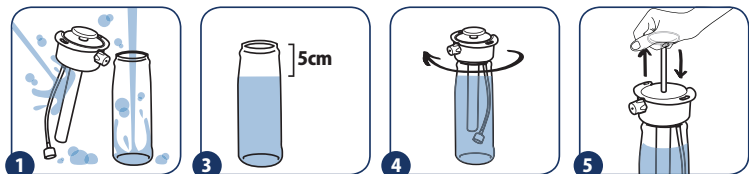
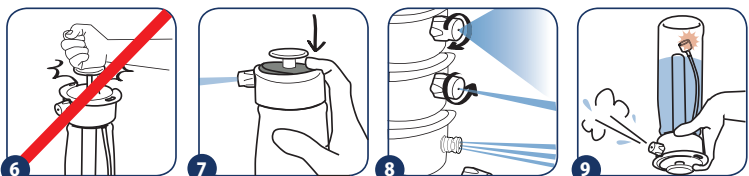


使用方法

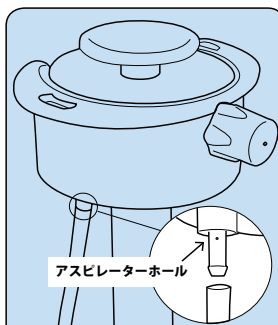


1. 初めてご使用する前にボトルとアクアボット本体を水と中性洗剤で洗浄して下さい。
2. アクアボットは付属のボトル以外で使用にならないでください。
3. ボトルに水を入れるときはボトルネックから5cmの位置より上には入れないで下さい。この空間に空気を圧縮し圧力を貯蔵します。水をいっぱいに入れると噴射できません。
4. アクアボットを時計回りにまわししっかりと閉じます。
5. ポンプハンドルをポンピングして加圧します。効率よくポンピングするためハンドルをしっかりとして引き上げてポンピングして下さい。

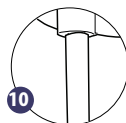


6. アクアボットを安全に加圧する為、650ml (24oz)ボトルは6回、1L(32oz)ボトルは10回のポンピングまでにして下さい。**過加圧しすぎないように注意して下さい。**
7. 水を噴射させるには、トリガーの後ろ側を押します。
8. スプレーパターンの選択方法
 - a. **ミスト**：ノズルキャップを時計回りに止まるまで回します。
 - b. **ストリーム**：ミストの位置からノズルキャップを反時計回りに1/4~1/2回します。
 - c. **シャワー**：ノズルキャップを反時計回りにまわして取り外します。
9. アクアボットを減圧する方法
 - a. アクアボットを逆さまにして持ちます。
 - b. ウェイテッド スクリーンが水位より上にあることを確認してください。
※アクアボットは逆さまにしても噴射する仕組みになっているので、ウェイテッドスクリーンが沈まないようにボトルを少し傾けると水位より上になります。
 - c. トリガーを押してください。最初にシリコンチューブの中の水が噴射された後、圧縮空気が放出されます。
※本体を反時計回りにゆっくりと回し減圧することもできます。

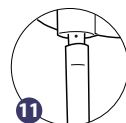
モード



10. ステルスモード：
飲用や細かいミストに最適
アスピレーターホールを塞ぐようにチューブを上にはずして取り付けます。



11. バルスモード：
水の勢いで汚れを落とす場合
水鉄砲として使用する場合
水を節約する場合に最適
下図のようにアスピレーターホールをふさがないようにチューブを取り付けます。

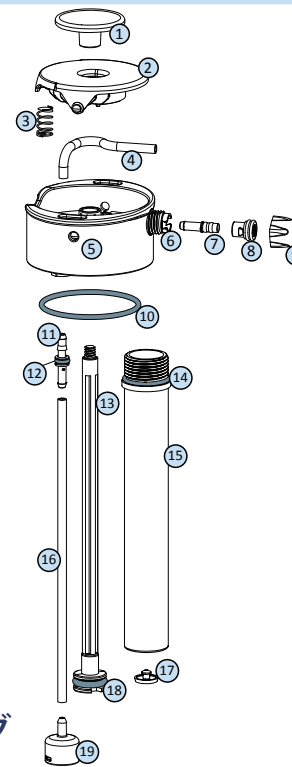


警告

- ・ポンピングでボトルを過剰に加圧しないで下さい。
- ・アクアボットで水を噴射させる時にストリームやシャワーモードで目や顔に向けて噴射させないで下さい。
- ・水以外の液体を使用しないで下さい。
- ・37℃以上のお湯は使用しないで下さい。
- ・窒息の危険性のある小さな部品が含まれます。3歳未満の子供の使用は禁止し、子供の手の届かない場所に保管して下さい。
- ・加圧（ポンピング）した状態で、放置しないでください。破裂する恐れがあります。
- ・説明書をよく読み、説明書に従った取扱をしてください。使用方法を理解せずに使用すると重大な事故につながる恐れがあります。

お手入れ方法

- ・加圧（ポンピング）した状態で、放置しないでください。破裂する恐れがあります。
- ・水を入れても入れてなくても冷凍庫へ入れないでください。低温は本体にダメージを与えます。
- ・直射日光の当たらない場所に保管してください。高温は本体にダメージを与えます。
- ・必要に応じて水と中性洗剤で洗ってください。
- ・食器洗浄機は使用しないでください。
- ・保管するときはシリコンチューブなど、よく乾かして保管してください。



- ① ポンプハンドル
- ② トリガー
- ③ スプリング
- ④ ピンチチューブ（シリコンチューブ）
- ⑤ リッド（蓋）
- ⑥ リッド ノズル
- ⑦ ノズル アダプター
- ⑧ ノズル
- ⑨ ノズル キャップ
- ⑩ リッド Oリング
- ⑪ ドローチューブ アダプター
- ⑫ ドローチューブ アダプター Oリング
- ⑬ ピストン ロッド
- ⑭ ポンプ バレル Oリング
- ⑮ ポンプ バレル
- ⑯ ドロー チューブ（シリコンチューブ）
- ⑰ アンブレラ パルプ
- ⑱ ピストン Oリング
- ⑲ ウェイテッド スクリーン

トラブルシューティング チャート 問題点

問題点	原因	対処方法
A. ボトルから本体が外れない。	ボトル内が加圧された状態になっている。	アクアボットを逆さまにして持ち、ウェイテッド スクリーン (19) が水位より上にあることを確認してください。次にトリガー (2) を押して、シリコンチューブの中の水を噴射し、圧縮空気を放出させてください。
B. ノズルから水漏れする。	ノズルキャップ (9) が緩んでいる。	ノズルキャップ (9) をしっかりと締め、反時計回りに1/4~1/2だけ回します。
C. 細かなミストにならない。	加圧が十分にされていない。 ノズルキャップ (9) がしっかりと締まっていない。 ノズル (8) が目詰まりしている。	加圧してください。 ノズルキャップ (9) を時計回りに止まるまで回してください。 水で洗い流してください。
D. アクアボットで加圧できない。	アクアボットがボトルにしっかりと取り付けられていない。 リッド Oリング (10) が乾いている。	リッド (5) を時計回りに返しボトルへしっかりと取り付け。 アクアボットをボトルから取り外し、少量の水をリッド Oリング (10) に塗布して下さい。
	Oリングがアンブレラパルプが紛失している。	Oリングがアンブレラパルプを交換する。※
	ピンチチューブ (4) が破損している。	ピンチチューブ (4) を交換する。※
E. 上部から水漏れする。	ピンチチューブ (4) が破損している。	ピンチチューブ (4) を交換する。※
F. ノズルから水が出ない。	ノズル (8) が目詰まりしている。	水で洗い流してください。
G. 加圧されるが水が出ない。	ピンチチューブ (4) がねじれたり、外れている。	リッド (5) の側面にある小さな穴を押してトリガー (2) を取り外します。ピンチチューブのねじれをとって取り付け直します。

※交換パーツについては左記宛お問い合わせ下さい。